

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第61号
令和4年8月17日

「危険な暑さ」の毎日ですが、8月は「葉月」「月見月」「木染月」「秋風月」「紅染月」「雁来月」と秋を感じる別名がいっぱいです。旧暦の8月は今の暦でおおよそ9月です。8月7日に立秋を迎え秋が訪れる時季です。



秋来ぬと目にはさやかに見えぬども風の音にぞおどろかれぬる（藤原敏行）

そう言えば、夕方、庭に出ると虫の音が聞こえてくるようになりました。暑さに参っていた薔薇の花が少し元気を取り戻しつつあるようにも感じます。吹く風に一瞬「秋」を感じたりしませんか…（あくまでも私個人の感覚です）。

学校では、前期後半がスタートします。コロナ禍だったり、暑かったりと心配事は後を絶ちませんが、安全安心を十分に配慮しながら、「出会いの花咲く学びの場」を通して（手段として）学校と地域が双方の協働活動を展開していきましょう。

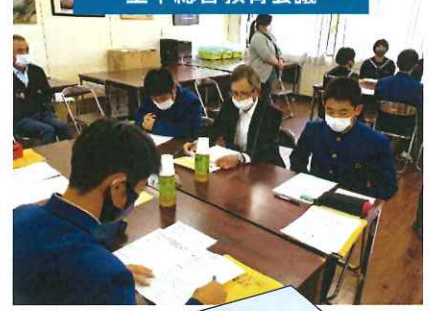
今回は玉名中学校区(玉名中、築山小)の活動の様子をお伝えします。

玉名中学校

読み聞かせボランティア



玉中総合教育会議



毎月1回、年間に各学年3回「とわの木」の方に読み聞かせをしていただいています。現在12名(今年度新規3名)登録していただっており、社会状況や生徒に伝えたいことなど、いろいろ検討して選ばれた本を読んでくださっています。慌ただしい一日のスタートの時間帯ですが、生徒たちは、心を静めて集中して、声に耳を傾けています。生徒の心を育てる大切な時間になっています。

年4回、地域の方、保護者の代表と学校関係者で学校の課題や地域の方々の思いを出し合い、子供たちのため学校をよりよい方向へと導くための会議を行っています。

昨年度は、校則改定に向けて生徒の代表との熟議を行いました。それぞれの立場からの考えをたくさん聞くことができました。いただいた意見を参考にして、生徒会を中心に校則改定を進めていきました。今年度も、引き続き校則について議論できればと思っています。

築山小学校

2年生:生活科



清掃ボランティア



地域ボランティアの方々に引率の協力をいただき、「山田のふじ」を見に行きました。目的は、学校の周りを歩き、地域への関わりのきっかけとすることです。帰ってきてから「山田のふじ」の様子を絵や文に表しました。

【子供の感想】

私たちの学校をきれいにしていただいて、とてもうれしいです。きれいになっていると勉強や運動を頑張ろうという気持ちになります。私たちも、美しい学校を意識して掃除など一生懸命頑張ろうと思います。

裏面あり